

大島大橋に貨物船衝突

10月22日未明、周防大島町と本州を結ぶ唯一の橋である大島大橋に貨物船が衝突しました。広域水道の送水管や通信ケーブル等が破断し、大島大橋にも損傷がありました。

周防大島町内は断水により給水が必要となり、大島大橋は片側交互通行を余儀なくされ、日常生活に多大なる影響を与えています。



▶破断し、大島大橋から垂れ下がる送水管や通信ケーブル等

暖かい支援

断水を受け、山口県内外の市町や企業・団体などから給水の支援や飲料水の支援、自衛隊の災害派遣、温浴施設の無料開放など、多くの暖かい支援をいただいております。



▲300トンの民間給水船の協力（給水車へ水を補充）



▲各市町からの給水協力



▲多くの方々からの飲料水の提供



▲自衛隊の災害派遣（海水をろ過し、真水へ）

ドイツ船会社 周防大島町に謝罪

10月27日、大島大橋に貨物船を衝突させた船を所有するオルデンドルフ・キャリアーズの役員が役場大島庁舎に訪れ謝罪しました。

スコット・ジョーンズ広報担当取締役は、「地域の皆さまならびに地域産業に多大な影響を与えてしまいました。心からお詫び申し上げます」と陳謝しました。

椎木町長は、「町の存続が危ぶまれるような危機的な状況にあり、1万6千人の住民生活や地域経済は麻痺状態に陥っている。」「住民の生活は限界にきている。」と強く抗議し、誠意ある対応を求めました。



▶椎木町長に頭を下げ謝罪する、スコット・ジョーンズ広報担当取締役⑤